



カッティングプロッターで 形状提案・サービス強化

平成24年度 補正予算事業

実施した事業の概要と成果

高性能カラーフォトセンサーの採用で、原点位置や座標の傾き・距離を補正するカッティングマシンの導入により正確な位置でカットできるようになったことと、高画質プリントで豊かな色彩表現を実現しクリエイティブな仕上がりや光沢性のある滲みのない画像が実現できるUVプリンターの導入で、完成品の状態に近いサンプル箱を制作出来るようになり顧客の満足度アップに貢献できた。

また、UV照射時の発熱量を大幅に低減したUVプリンターの導入で熱の影響を受けやすいメディアにも自在にプリントすることが可能になったほか、プリント後即座に硬化するUV硬化インクにより乾燥時間を気にする必要がなくなりプリントから加工までの作業時間も大幅に短縮され、作業効率が飛躍的にアップした結果デザインから製造まで含めたリードタイムも短縮化され短期間で密度の濃い提案ができるようになった。



完成した化粧箱



POP



技術開発や課題解決への取り組み

サンプル箱をスピーディーに制作するために、印刷されたデザイン面を正確な位置情報によりカットすることのできるカッティングマシンと、印刷時の熱による変形や乾燥時間の短縮を実現することができる UV プリンター、印刷後の箱の展開図が自動的にカットできるカッティングプロッターを導入した。

いずれの機械も高性能であるがオペレーターの技量が大きく問われるため力量のアップに努めた。結果現在では各機械の特性を十分把握しそれぞれの機能をフルに引き出ししており、お客様のご要望に応えられるようになっている。



UV プリンター



カッティングプロッター

事業者 エス・パックス株式会社

代表者 代表取締役 下園 廣一

設立年月 昭和28年3月

所在地等 〒891-0131
鹿児島市谷山港2-2-9
TEL: 099-262-1111
FAX: 099-262-3896
<http://www.s-pax.co.jp/>

事業区分 ものづくり技術

資本金額 4,000万円

従業員数 100人

業 種 パルプ・紙・紙加工品製造業

エス・パックス株式会社の

生魂
いっだまし

代表取締役社長
下園 廣一



補助事業取り組みへのきっかけ・目的は？

化粧箱等を提案する場合に箱の立体形状と箱のデザインを別々に製作し、手作業にて糊づけし貼り合せて提示する方法をとっていた。また、デザインの印刷にしても事務用のカラープリンターを使用していたので、実際の印刷機の色を出す事が出来ず、「この部分は、もっと深みのある黒になります」や、「この部分は光沢があります」等の補足説明を行っていた。顧客に対し、完成品の印刷状態に近いサンプル箱をスピーディーに制作し顧客の満足度アップに貢献したいと考えた。

今後の取り組みは？

主要な顧客である地場企業に対して、店頭POP・イベント販促品・マッチングフェア販促等のPOPツール等も化粧箱と一緒に提案することにより、顧客の目線に立った地域密着型の営業が可能となり、大手の県外資本のライバル会社に追いつく営業展開ができると期待している。お客さまのご要望に即応しご満足いただける商品と、きめ細かい行き届いたサービスを安定供給することを使命とし取り組んでいく。